

|                    |  |  |    |               |        |      |    |
|--------------------|--|--|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名<br>Course Name | 社会福祉の原理と政策 I<br>Social Welfare Principles and Policies I   |  |    | ナンバリング<br>No. | I1-001 |      |    |
| 年次                 | 1 年  | 期別   | 前期 | 単位数           | 2      | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名              | 大熊信成   |  |    |               |        |      |    |
| 連絡先(質問等)           | 福祉棟 3F 研究室か、メールで対応。  |  |    |               |        |      |    |
| 必修/選択              | 選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)  |  |    |               |        |      |    |
| 関連 DP              | DP2、DP3、DP4  |  |    |               |        |      |    |
| 授業の概要と到達目標         | 現代社会における政治・経済・財政・社会・少子高齢社会などの現状を理解し、国民生活における社会保障・福祉の機能と役割及びその現状と課題を理解する。また、その前提として社会福祉の理念や意義を学ぶと共に、欧米・我が国における歴史を概観し、これらに対応する社会保障・福祉関係各法律及び施策・制度の理解を深める。①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。③社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。④福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。⑤福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。⑥福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。⑦福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。 |  |    |               |        |      |    |
| 授業の方法              | 基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行き、知識の定着を図る。   |  |    |               |        |      |    |
| 学習成果               | L01  |  |    |               |        |      |    |
|                    | L02  | ①国・地方自治体の政治・経済・社会施策と社会保障・福祉政策の関連を説明することができる。<br>②国民生活と社会保障・福祉との関連性を説明することができる。 |    |               |        |      |    |
|                    | L03  | 社会福祉の基本理念・ニーズ理解とそれに対応する社会福祉従事者としての基本的な学習課題を明確にすることができる。                        |    |               |        |      |    |
|                    | L04  |  |    |               |        |      |    |
| 課題に対するフィードバック      | 毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。  |  |    |               |        |      |    |
| 教科書/参考図書           | ①『社会福祉の原理と政策』 弘文堂<br>②『現代社会福祉の諸相』 大学図書出版 大熊編著他 授業中に指示し、資料を配布する。  |  |    |               |        |      |    |
| 履修上の留意点やルール等       | 一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。原則、「現代社会と福祉 I」だけの履修は認められない。「現代社会と福祉 II」も履修すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。社会福祉主事任用資格に係る科目である。  |  |    |               |        |      |    |
| 担当教員の実務経験          |  |  |    |               |        |      |    |

| 成績評価の方法と基準 |  |         |     |     |     |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域      | 評価基準   | 学習成果の割合 |     |     |     |
|            |  | L01     | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度     | 授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。                       |         | 20  |     |     |
| レポート/作品    | 提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。 |         | 20  |     |     |
| 発表         |  |         |     |     |     |
| 小テスト       |  |         |     |     |     |

|            |  |  |    |    |
|------------|--|--|----|----|
| 試験         | 論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。 |  |    | 60 |
| その他        |  |  |    |    |
| <b>合 計</b> |  |  |    |    |
|            |  |  | 40 | 60 |

| 回数 |         | 授業計画   |
|----|---------|--|
| 1  | 授業内容    | ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など)                              |
|    | 事前・事後学習 | 社会福祉のイメージについて各自ノートに記述してくる。事後学習においては福祉のイメージがどのように変化したのかをまとめておくこと。 |
| 2  | 授業内容    | 社会福祉の原理 社会福祉とは何か 社会福祉の意味、概念、理念と価値                                |
|    | 事前・事後学習 | 福祉の意味についてテキストを参照にしてノートにまとめること。                                   |
| 3  | 授業内容    | 現代社会と福祉① 現代社会における社会福祉 社会福祉の思想・哲学                                 |
|    | 事前・事後学習 | 現代社会における社会福祉について各自、自分の住んで切る地域の現状を踏まえてノートにまとめること。                 |
| 4  | 授業内容    | 現代社会と福祉② 福祉ニーズの変遷 現代の社会福祉問題                                      |
|    | 事前・事後学習 | ニーズについてテキストを参照にしてノートにまとめること。                                     |
| 5  | 授業内容    | 社会福祉の歴史① 欧米における社会福祉の変遷   |
|    | 事前・事後学習 | 欧米の社会福祉について時系列的にノートにまとめること。                                      |
| 6  | 授業内容    | 社会福祉の歴史② 日本における社会福祉の変遷 レポート「ノーマライゼーションの原理について」第7回の授業日に提出         |
|    | 事前・事後学習 | わが国における福祉制度の変遷についてテキストを参照にしてノートにまとめること。                          |
| 7  | 授業内容    | 社会福祉の専門職と資格について① 専門性と倫理  |
|    | 事前・事後学習 | 社会福祉の資格について調べておくこと。ノーマライゼーションのレポートを提出のこと。                        |
| 8  | 授業内容    | 社会福祉の専門職と資格について② 連携について  |
|    | 事前・事後学習 | 専門職の意味について調べておくこと。連携についてまとめること。                                  |
| 9  | 授業内容    | ソーシャルワークとは   |
|    | 事前・事後学習 | ソーシャルワークの種類についてテキストを参照にしてノートにまとめること。                             |
| 10 | 授業内容    | 児童家庭福祉について 社会問題と社会構造   |
|    | 事前・事後学習 | 児童家庭福祉の概要についてまとめておくこと。   |
| 11 | 授業内容    | 高齢者福祉について 社会問題と社会構造  |
|    | 事前・事後学習 | 高齢者福祉の概要についてまとめておくこと。  |
| 12 | 授業内容    | 公的扶助について 社会問題と社会構造   |
|    | 事前・事後学習 | 公的扶助の概要についてまとめておくこと。   |
| 13 | 授業内容    | 地域福祉について 社会問題と社会構造   |
|    | 事前・事後学習 | 地域福祉の概要についてまとめておくこと。   |
| 14 | 授業内容    | 現代社会における家庭と福祉 福祉政策の基本的な視点  |
|    | 事前・事後学習 | 家庭と福祉の概要についてまとめておくこと。  |
| 15 | 授業内容    | 授業のまとめ 福祉政策の動向と課題  |
|    | 事前・事後学習 | これからの課題についてノートにまとめておくこと。試験対策を行うこと。                               |